
口頭発表 | 1. 栄養・飼養

栄養・飼養

座長:熊谷 元(京大院農)、嶺野 英子(農研機構東北農研)、河合 正人(北大FSC)

Thu. Sep 19, 2019 9:30 AM - 11:30 AM 第I会場 (ぽらんホール(8番講義室))

I-19-01~I-19-04 : 熊谷 元

I-19-05~I-19-08 : 嶺野 英子

I-19-09~I-19-12 : 河合 正人

9:30 AM - 9:40 AM

[I-19-01]グラスおよびコーンサイレーズ繊維のルーメン内消化速度を入力した飼料設計の予測乳量と実測乳量の比較

*福田 勇之助¹、川上 美季¹、多田 佳那子¹、福地 修平¹、松崎 なつみ¹、溝口 萌乃¹、田中 常喜²、川越 大樹³、泉 賢一¹ (1. 酪農大農食環境、2. 道総研畜試、3. 雪印種苗)

【目的】 NDFのルーメン内消化速度 (kd) は、飼料設計の乳量予測に影響する項目で、インビトロ NDF消化率 (ivNDFD)を用いて算出される。本研究では直接分析か NIRを用いて間接推定した ivNDFDを用いて、グラス (GS) およびコーンサイレーズ (CS) NDFの kdを算出し、飼料設計ソフトに入力することで、乳生産の予測精度が向上するか検討した。【方法】酪農大牛群 (33頭) を対象に、GSとCSを粗飼料源とした TMRを供試した。試験期 (12日間) を2期設け、1期は飼料乾物中でGS21.2%、CS33.0%、2期は同34.1%、7.7%の TMRを用いた。kdはGSでは飼料設計に登録された初期値、直接分析値および間接推定値を、CSは初期値と直接値を用いた。これにより、一つの飼料設計に対して6通りの kdの組合せと予測乳量が得られた。【結果】1期の実測乳量は26.8kg/dであり、2期は26.4kg/dであった。1期で予測乳量が実測乳量に最も近かったのは、CSの kdを初期値、GSでは直接値および間接値を入力した27.2kg/dであった。2期ではCSを初期値、GSに間接値を入力した26.5kg/dであった。どちらの試験期も、GSおよびCSが初期値だと予測乳量が実測乳量を上回った (1期+2.0kg, 2期+2.6kg)。また、GSとCSの kdを両方入力すると、予測乳量は実測乳量を下回る傾向にあった。